

| 自己評価  |  |  |        |
|---|--|--|--------|
| 学校運営計画(4月)  |  |  | 評価     |
| 学校運営方針  | 校訓「生きる希望 学ぶ喜び」にあふれた生徒を育成する。<br>また「独立・自主の精神を育成する」「敬愛・協力の学園を創造する」「報恩・感謝の態度を育成する」の3条を教育方針とする。 |  |        |
| 昨年度の成果と課題   | 年度重点目標   | 具体的目標  |        |
| 【成果】<br>1 ICT活用による授業改善と教育活動の充実<br>2 自己実現への意欲・関心の向上による結果としての進路実現<br>3 部活動や学校行事の活性化による主体性や自立心の育成<br>4 「筑前レクチュール活動」に代表される言語活動の充実<br>【課題】<br>1 ICT活用のさらなる充実と魅力的な授業による学力伸長<br>2 活気ある学校行事や日々の学校生活による社会形成能力や人間関係形成能力の育成<br>3 交通マナーや情報モラルの指導等による規範意識育成<br>4 探究活動や筑前レクチュール活動のさらなる充実による思考力・判断力・表現力の育成 | 基礎学力及び思考力・判断力・表現力の向上   | <ul style="list-style-type: none"> <li>Google Classroom、スタディサプリ、ICT機器等の活用による学習の効率化</li> <li>主体的・対話的な授業の充実</li> <li>思考力・判断力・表現力を養う授業および「筑前レクチュール活動」「あさかつ」等の学校独自の取り組みの充実</li> <li>高校生のための学びの基礎診断や外部模試等の客観的データ分析に基づいた「学習のPDCA」の確立</li> </ul>  |        |
|   | 人間関係形成・社会形成能力の育成   | <ul style="list-style-type: none"> <li>部活動や学校行事・生徒会活動等の活性化及び「あさかつ」の活用等により、体験を通して生徒の自己肯定感を高めるとともに、人間関係形成・社会形成能力を育成する。</li> <li>多様な他者との協力や協働を通し、キャリア形成に必要な自己理解を深め、自己管理能力を高める。</li> </ul> <p>※人間関係形成・社会形成能力とは、多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができるとともに、自分の置かれた状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と協力・協働して社会に参画し、今後の社会を積極的に形成することができる力</p> |        |
|   | 教員の指導力、教職員の連携の強化   | <ul style="list-style-type: none"> <li>校内外の研修や自己研鑽により、教科指導力の向上に努め、観点別評価の多様な手法を研究し実践する。</li> <li>教師自身が人権感覚を研ぎ澄まし、いじめを絶対にゆるさない雰囲気醸成する。</li> <li>教育力向上のためにはチームワークが必須であることを共通認識とし、分掌・学年等の枠を越えた連携を深める。</li> </ul>   |        |
| 評価項目  | 具体的目標  | 具体的方策  | 評価(3月) |
| 教務課   | 生徒が主体となる授業づくり  | アクティブラーニングやICTを活用した授業の実践   | A      |
|   | 観点別評価の推進と段階的实施   | 基礎的・基本的な知識・技能の定着のための個別対応・きめ細かい指導   | B      |
|   |  | 観点別評価による授業改善と振り返りの充実(指導と評価の一体化)  | B      |
|   | 生徒の基本的な生活習慣の確立   | カウンセリングマインド、チーム支援等による出席率向上   | C      |
| 未来探究課   | 総合的な探究の時間(CSDs)の円滑な実施  | 学校・学年全体で最終目標を共有し、3年間を見通した探究活動の実践   | B      |
|   |  | 筑前レクチュール活動、小論文、地域ボランティア活動、ワンヘルス教育など各活動を包括的に捉え、課題探究活動と連携を図る   | A      |
|   | 筑前レクチュール活動の充実と図書館機能の充実   | 朝読書をはじめとする「あさかつ」時間の活用と、ビブリオバトルや探究型読書を応用したアウトプット活動の充実   | B      |
|   |  | 適正かつ計画的な図書を選定・購入。小論文や「総合的な探究の時間」などに役立つ図書の重点整備  | A      |
| 環境問題への取り組みと、生徒のSDGsに対する意識の向上  | 啓発ポスターの掲示、清掃活動などのボランティアを行う地域貢献活動の実施  | B  |        |
| 研修課   | 校内職員研修の充実  | 教育課題に対応した研修の企画・立案を図る   | B      |
|   | 授業アンケートと相互授業参観の実施  | 他分掌との連携を強化し、本校の課題に即した研修を年6回実施  | A      |
|   |  | 公開授業や相互授業参観、研究授業週間を活用した授業改善の実施   | B      |
|   | 校外諸活動との連携  | 授業アンケートを活用した授業改善の実施  | C      |
| 生徒支援課   | 健康教育の推進  | 校外研修や異校種授業参観などを広報し、参加の促進を図る  | B      |
|   |  | 生徒海外交流の実施と教育実習・インターンシップの受入   | A      |
|   | 生徒支援体制の充実  | 生徒自ら、自主的・主体的に健康の保持増進を行うことができる資質や自己管理能力の育成  | B      |
|   |  | 基本的な感染症対策、及び健康上不安や悩みを抱える生徒への問題解決に向けての支援  | A      |
| 校内環境の整備と美化意識の向上   | 緊急時における救急措置や関係者への対応等の迅速な初期対応の徹底  | A  |        |
|   | 保健室やSC・SSW等と密に連携し、支援を必要とする生徒・保護者への組織的かつ適切な支援の実施  | A  |        |
| 健康教育の推進   | 年間、及び各行事における清掃等の美化計画の立案と実施   | B  |        |
|   | 分別リサイクル活動の指導や、更なる美化意識の向上に資するような美化委員会活動の活性化   | B  |        |

| 学校関係者評価 |  |
|---------|--|
| 評価      | 自己評価は  |
| A       | A : 適切である  |
|         | B : 概ね適切である  |
|         | C : やや適切である  |
|         | D : 不適切である   |
| 項目ごとの評価 | 学校関係者評価委員会からの意見  |
| B       | <ul style="list-style-type: none"> <li>授業を参観した中で、ICT活用が進んでいると感じた。</li> <li>欠席や遅刻が目立つことについては、Googleフォームを使った欠席連絡が簡単にできることが原因と推測される。</li> </ul> |
| A       | <ul style="list-style-type: none"> <li>地域での活動が充実している。</li> <li>ビブリオバトルは筑前高校の特色になることを期待している。</li> </ul>                                       |
| A       | <ul style="list-style-type: none"> <li>授業アンケートを有効に活用することで授業改善できるよう期待する。</li> <li>教員の授業スキルが向上し、全体の授業の質が担保できるよう、職員研修の在り方を検討してほしい。</li> </ul>   |
| A       | <ul style="list-style-type: none"> <li>保健委員会が生徒の主体的な活動になっているのは素晴らしい。</li> <li>清掃作業は生きていくための訓練にもつながる。</li> </ul>                              |

令和5年度 学校評価書 (計画段階(実施段階))

福岡県立筑前高等学校

Table with columns: 評価項目, 具体的目標, 具体的方策, 評価(3月), 次年度の主な課題. Rows include 生徒育成課, キャリア形成課, 総務課, 広報課, 1学年, 2学年, 3学年, 事務部.

Table with columns: 項目ごとの評価, 学校関係者評価委員会からの意見. Rows correspond to the evaluation items in the previous table.

自己評価及び学校関係者評価を踏まえた今後の改善策

- 観点別評価の効果的な運用と、ICTの活用の充実を図り、生徒のコンピテンシーが着実に向上する授業を目指す。
本校の教育の特徴である「レクチュール活動」を全ての生徒が確実に取り組み、将来にわたって財産となる言語運用能力を向上させ、さらに論理的思考力・表現力の養成につなげる。
生徒の進路実現を、筑前の「授業」と「虹」プロジェクトで確実に達成し、地域の期待に応える。
学校行事を通じて、他者と自分を大切にすることを育てる。他者との共生を重んじる意識を向上させることを、交通マナーの改善、いじめの防止につなげる。
地域から見える学校を目指し、広報ツールの積極的運用、地域とつながる様々な取組を充実させる。

評価項目以外のものに関する意見

社会に対し、高校生立場でどう関わられるか、何ができるのかを考える(時には行動も)機会をお願いしたい。